

令和6年度障がい者ピアサポート研修実施報告

神奈川県福祉子どもみらい局福祉部 障害福祉課 地域生活支援グループ

Kanagawa Prefectural Government

1 研修概要

■目的

自ら障がいや疾病の経験を持ち、その経験を活かしながら、他の障がいや疾病のある障がいの者の支援を行うピアサポーター(障がい当事者)及びピアサポーターの活用方法等を理解した障害福祉サービス事業所等の管理者等の養成を図ることにより、障害福祉サービス事業所等における質の高いピアサポート活動の取組を支援する。

■実施内容

- ・定員72名(1コース36名×2日程)
- ・基礎研修2日間、専門研修2日間の計4日間のカリキュラム※
- ・対面形式による実施

※ フォローアップ研修については次年度に実施予定

Kanagawa Prefectural Government

2 申込状況

■受講定員72名に対し、122名の方から申込

(内訳)

事業所申込※	94名
個人申込(ピアサポーター)	15名
個人申込(専門職)	13名
合計	122名

※ 事業所に所属する専門職とピアサポーター2人1組での申込

Kanagawa Prefectural Government

3-1 受講者の内訳①

■ 申込区分内訳

	専門職	ピアサポーター	合計
A日程	18名	18名	36名
B日程	15名	17名	32名※
合計	33名	35名	68名

※ 2事業所(計4名)が受講辞退

■ 障がい種別内訳(複数回答)

	身体	知的	精神	発達	難病	高次脳
A日程	2名	1名	18名	2名	0名	0名
B日程	5名	0名	9名	3名	2名	0名
合計	7名	1名	27名	5名	2名	0名

Kanagawa Prefectural Government

3-2 受講者の内訳②

■ 所属事業所別内訳

	精神障害者 支援センター	就労継続 支援A型	就労継続 支援B型	計画相談 支援	就労移行 支援	共同生活 援助	自立訓練 (生活訓練)	合計
A日程	2名	4名	22名	4名	2名	0名	2名	36名
B日程	1名	6名	4名	15名	0名	4名	2名	32名
合計	3名	10名	26名	19名	2名	4名	4名	68名

◎受講者68名＋ファシリテーター18名が研修に参加。

4 合理的配慮について(一部抜粋)

【ハード面】

- ・研修室と多目的トイレを同フロアに備えている会場を選定
- ・体調不良時の静養室を確保
- ・車いす使用者が利用できる座席を確保

【ソフト面】

- ・文章の理解に時間を要する方には、研修資料を事前に配布
- ・手話通訳者を配置
- ・UDトークを使用し、講義やグループワーク時の会話を視覚化

5 修了者について

■基礎研修

	専門職	ピアサポーター	合計
A日程	17名	17名	34名
B日程	15名	17名	32名
合計	32名	34名	66名

■専門研修

	専門職	ピアサポーター	合計
A日程	15名	17名	32名
B日程	15名	17名	32名
合計	30名	34名	64名



基礎研修と専門研修を両方修了した受講者64名と、
18名のファシリテーターを合計した83名がピアサポート関連加算の対象者となる

Kanagawa Prefectural Government

6 課題

- 申込時に必要な合理的配慮について申出は無かったが、研修当日に合理的配慮が必要であることが判明した。
- 事業所が当事者(ピアサポーター)に研修を受講することの意思を確認せずに、申込をしていたケースがあり、「(参加するように)言われて来た」受講者や、受講を辞退する申込者がいた。
- 「支援者として雇用されているピアサポーター」を対象としているが、就労継続支援の事業所で利用者として雇用されている方の申込が複数あった。
- 知的障がいのある受講者の研修理解度等の確認方法について。

Kanagawa Prefectural Government